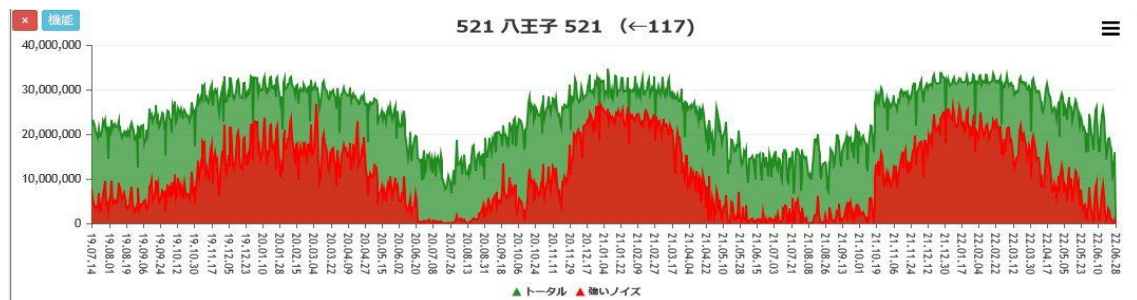


八王子の長期データは約1年の周期で増減を繰り返しています。なぜこういう増減が起きるのか？はわかりませんが 大きな山をつくったのちにデータが減衰して、再度上昇するパターンを繰り返しています。ただ弱いデータである緑色のデータは完全な収束にならず、赤の強いデータがほぼ収束しています。

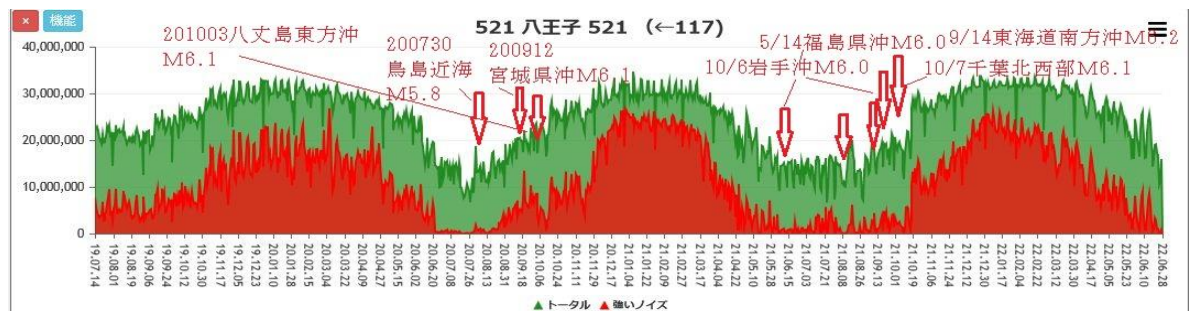
この赤のデータが収束したタイミングで どのような地震が発生しているかをみたところ、以下のように収束して底を打ち、再度上昇していくあたりで、M6クラスの大型の地震が複数起きています。震源は南方の父島、八丈島などと、茨城、千葉の関東、および福島、宮城、岩手などの太平洋側の沖合が多いようです。

本日6月29日には八王子データがかなり収束してきて居るので今後、大型地震の可能性に注意すべきと考えます。

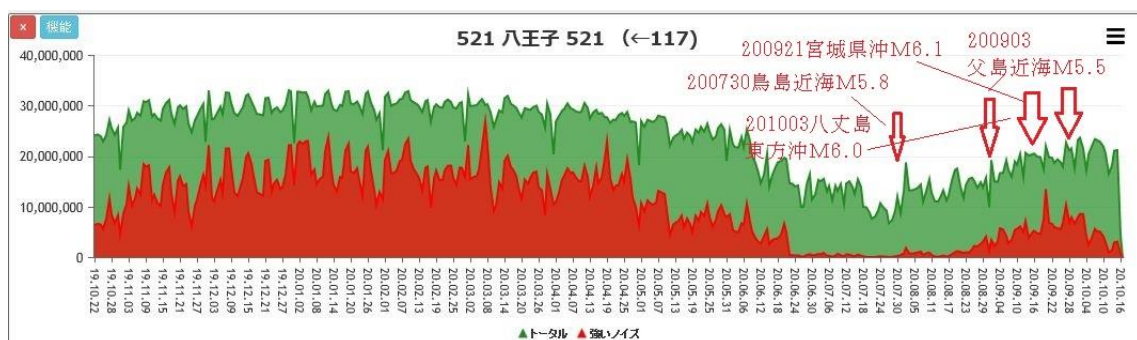
八王子 1080 日間 (3年間) データ



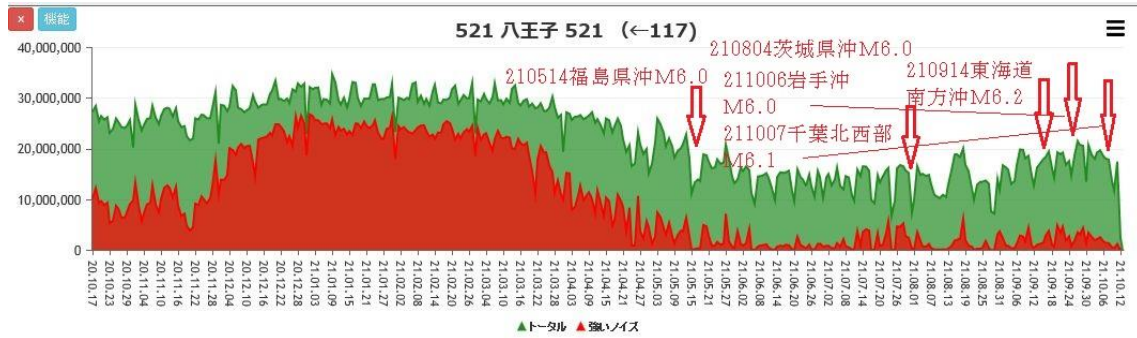
八王子 1080 日間データと大型地震の発生のタイミングを入れたもの



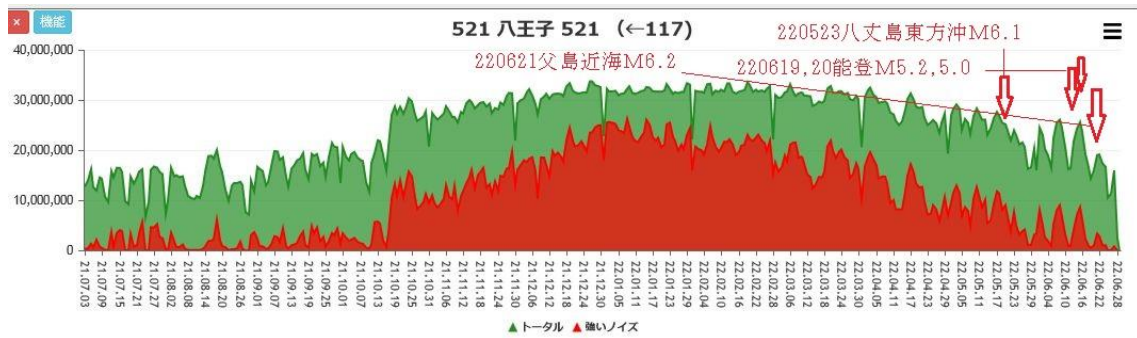
2020年6月以降の大型地震の発生のタイミング



2021年5月以降の大型地震の発生のタイミング



2022年6月28日までの360日間データ



八王子 15日間データ

